

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の有価証券…償却原価法（定額法）によっている。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
什器備品…定率法によっている。
ソフトウェア…定額法によっている。
商標権…定額法によっている。
- (3) 引当金の計上基準
退職給付引当金…期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。
求償権償却引当金…求償権の回収不能による損失に備えるため、回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上している。
債務保証損失引当金…債務保証に係る損失発生に備えるため、必要額を計上している。
- (4) キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲
キャッシュ・フロー計算書における資金（現金及び現金同等物）は、手元現金、随時引き出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない取得日から3か月以内に償還期限の到来する短期投資からなっている。
- (5) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
債務保証引当資産	4,118,313,015	0	0	4,118,313,015
収支差額変動引当資産	71,587,159	0	0	71,587,159
過剰米対策基金引当資産	3,387,793,548	0	102,802,493	3,284,991,055
入会金引当資産	450,000	0	0	450,000
もち米基金引当資産	1,181,862,282	0	36,862,265	1,145,000,017
消費拡大・情報提供準備金引当資産	1,771,570,534	0	155,400,000	1,616,170,534
情報事業引当資産	621,514,263	0	41,000,000	580,514,263
精米設備導入助成事業引当資産	216,837,097	0	24,305,436	192,531,661
管理費維持引当資産	888,634,202	0	2,446,952	886,187,250
退職給付引当資産	247,935,966	16,345,838	73,826,750	190,455,054
合 計	12,506,498,066	16,345,838	436,643,896	12,086,200,008

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産				
債務保証引当資産	4,118,313,015	(4,118,313,015)	(0)	—
収支差額変動引当資産	71,587,159	(0)	(71,587,159)	—
過剰米対策基金引当資産	3,284,991,055	(3,284,991,055)	(0)	—
入会金引当資産	450,000	(0)	(0)	(450,000)
もち米基金引当資産	1,145,000,017	(1,145,000,017)	(0)	—
消費拡大・情報提供準備金引当資産	1,616,170,534	(1,616,170,534)	(0)	—
情報事業引当資産	580,514,263	(580,514,263)	(0)	—
精米設備導入助成事業引当資産	192,531,661	(192,531,661)	(0)	—
管理費維持引当資産	886,187,250	(886,187,250)	(0)	—
退職給付引当資産	190,455,054	(0)	(0)	(190,455,054)
合 計	12,086,200,008	(11,823,707,795)	(71,587,159)	(190,905,054)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	23,260,900	17,342,182	5,918,718
ソフトウェア	17,992,246	14,954,157	3,038,089
商標権	594,000	415,800	178,200
合 計	41,847,146	32,712,139	9,135,007

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	帳簿価額	時価	評価損益
債務保証引当資産（有価証券）	4,118,313,015	4,275,254,540	156,941,525
収支差額変動引当資産（有価証券）	71,587,159	74,315,217	2,728,058
もち米基金引当資産（有価証券）	807,980,981	807,018,296	△ 962,685
消費拡大・情報提供準備金引当資産（有価証券）	1,202,114,562	1,199,008,392	△ 3,106,170
情報事業引当資産（有価証券）	180,539,626	180,389,084	△ 150,542
管理費維持引当資産（有価証券）	759,275,222	776,502,136	17,226,914
退職給付引当資産（有価証券）	135,592,553	140,759,742	5,167,189
投資有価証券	8,133,023,354	8,442,958,293	309,934,939
合 計	15,408,426,472	15,896,205,701	487,779,229

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残 高	当期増加額	当期減少額	当期末 残 高	貸借対照表上 の記載区分
補助金						
外食産業等に連携した農産物の需要拡大対策事業補助金	農林 水産省	0	0	0	0	—
農林水産物・食品輸出促進緊急対策事業補助金	農林 水産省	0	0	0	0	—
合 計		0	0	0	0	

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
特定資産の運用益計上による振替額	73,142,846
受取寄付金の計上による振替額	362,817,146
合 計	435,959,992

8. キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲記されている金額との関係は以下のとおりである。

(単位：円)

内容	前期末	当期末
現金預金勘定	296,207,806	223,892,976
預金期間が3か月を超える定期預金	△ 5,000,000	0
現金及び現金同等物	291,207,806	223,892,976

9. 金融商品の状況に関する事項

- (1) 金融商品に対する取組方針
 当法人は、公益目的事業の財源の相当部分を運用益によって賄うため、債券により資産運用する。
- (2) 金融商品の内容及びそのリスク
 投資有価証券は、債券であり、発行体の信用リスクにさらされている。
- (3) 金融商品に係るリスク管理体制
 - ① 保証業務規程等に基づく取引
 金融商品の取引は、当法人の保証業務規程等に基づき行う。
 - ② 信用リスクの管理
 債券については、発行体の状況を定期的に把握している。

10. 資産除去債務関係

当法人は、事務所の貸室賃貸借契約に基づき、事務所の退去時における原状回復に係る債務を有しているが、当該債務に関連する貸借資産の使用期限が明確でなく、将来事務所を移転する予定もないことから、資産除去債務を合理的に見積もることができない。そのため、当該債務に見合う資産除去債務を計上していない。